

第14回まちづくり大学

2月7日、町図書館ホールで第14回まちづくり大学が開催され、ある出会いをきっかけに物理学に興味を持ち、大学に進学し、36歳で高校教師となった宮本延春さんによる講演会が行われました。

講演では、誰にでもある可能性「オール1の落ちこぼれ、教師になる」と題して、宮本さんが実際に体験された小・中学生時代の「いじめ」のことや、そのとき自分がどのように感じていたのか、また、人生の転機を迎えた23歳のときの出来事など辛く悲しかったこれまでの半生を、明るくユーモアを交えてお話され、「やらないで後悔はしたくない」という言葉を使って人は出会いにより変わり成長していくことを参加者に語りかけました。



▲やさしい笑顔で語りかける宮本さん

女と男で築くいきいき菊陽！ 「第8回菊陽町男女共同参画セミナー」開催



▲本橋馨さんによる講演

1月31日、図書館ホールで、町・男女共同参画社会推進懇話会・さんさんの会の主催で「第8回菊陽町男女共同参画セミナー」が開催され、町内外から500人を超す参加がありました。

オープニングは、菊陽町働く婦人の家（三里木町民センター）講座生のコーラスと南京玉すだれで明るく元気に始まり、「男女共同参画昔ばなし」では、みんなが幸せに過ごしていくにはお互いを認め合い助け合う心が大切だと、おもしろく、そしてやさしく表現しました。

続いて、本橋馨さんの「モッチャんのしあわせ男女共同参画講座」と題した講演があり、自身の体験や経験を踏まえ、

笑いも交えた楽しいお話は、とても好評でした。

フィナーレでは、講師の本橋さんも一緒に全員で「リンゴの唄」を合唱し、大盛況のなかでの閉会となりました。

また、参加者には、今年で2回目となるさんさんの会が作成した川柳入りのカレンダーも配られました。

＊町では、「第4期基本構想」の中でまちづくりの基本方向の一つとして「パートナーシップによるまちづくり」「男女がともに歩むまち」を掲げ、女性も男性も対等なパートナーとして、ともに支え合い活力ある菊陽町を築いていくため、三里木町民センターを推進拠点として「男女共同参画社会」づくりに取り組んでいます。



▲男女共同参画昔ばなし

地球温暖化防止講演会

1月18日、町図書館ホールで約450人が参加して、地球温暖化防止講演会が開催され、「地球温暖化の現状と将来は（削減しても止まらない温暖化）」という演題で、東京大学などで教授を務める山本良一氏が講演を行いました。

山本氏は、私たちの意識・行動改革の必要性を「やればできる、やりとげなければ子どもたちの未来、私たちも未来がない」とわかりやすい言葉を使ってお話されました。その後、企業代表でソニーセミコンダクタ九州(株)佐藤富雄総務部長、南八久保子ども会久保進会長、みなさんがたグリーンクラブ紫藤和代代表による事例発表が行われ、各分野での取り組みを発表されました。



▲講演する山本教授



▲企業の事例を発表する佐藤総務部長



▲子ども会の事例を発表する久保会長



▲グリーンカーテンの事例を発表する紫藤代表

菊陽町企業・事業者交流促進研修会

1月29日、火の国ハイツで、町内の企業、事業者を対象に約100人が参加して「菊陽町企業・事業者交流促進研修会」が行われました。

最初に行われた研修会では、熊本学園大学学長の坂本正氏と地域流通経済研修所の岩永祥三氏が、それぞれ講演を行い、参加者はスピード感を持った経営、将来を見据えた新しい取り組み、厳しい経済状況下でどう対応すべきかなど、メモを取りながら真剣に聞き入っていました。

また研修会の後に行われた交流会では、情報や意見の交換などが行われ、町内企業、事業者間の交流が図られました。



▲講演を真剣に聞き入る参加者

韓国から鼻ぐり井手の視察

1月21日、韓国の清州MBC放送の金在哲社長が本町を訪れ、歴史的農業用水路「鼻ぐり井手」の視察を行いました。

金社長は、昨年度、熊本市で韓国蔚山市との「日韓友情コンサート」を主催した縁で、今回、熊本へ再訪され、本町にある加藤清正公が築造した「鼻ぐり井手」を見学し、大変感銘を受けられていました。



▲鼻ぐりを視察した金社長（左）